新治西部地区

新治西部地区別計画推進委員会

地域　新治町、十日市場町、長津田みなみ台６・７丁目の一部（十日市場団地地区を除く）

緑区の西北に位置し、地区の北側は恩田川を境に青葉区に隣接しており、新治町、十日市場町（十日市場団地地区を除く）、長津田みなみ台６丁目の一部（十日市場町自治会）、長津田みなみ台７丁目の一部（後谷地区）で連合自治会を形成しています。

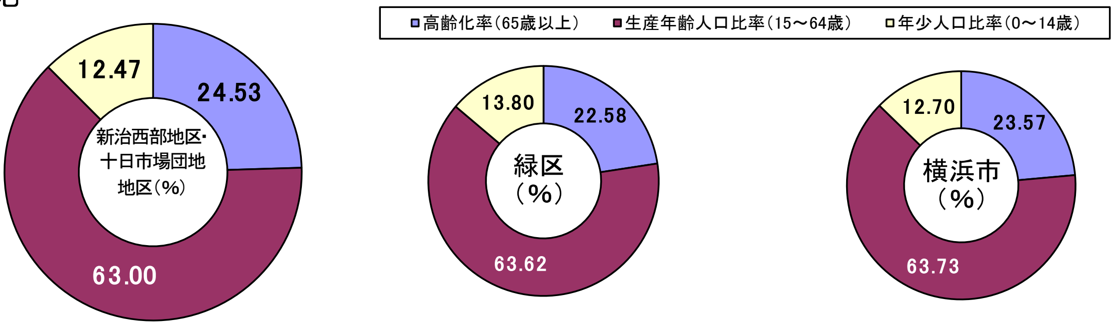
十日市場駅南側を中心に、公共施設、商業施設、医療機関やマンションなどの集合住宅を中心とした住宅が密集している一方、横浜線北側や新治町には農地や新治市民の森などの緑地も多く残されています。

＜主な関連施設＞
最寄駅：十日市場駅（ＪＲ横浜線）
震災時避難場所（地域防災拠点）：新治小学校、十日市場小学校
地域ケアプラザ等：横浜市十日市場地域ケアプラザ

＜年齢区分別人口＞

平成 28 年(2016 年)9 月末

人口比



新治西部地区・十日市場団地地区	
75歳～	2,550人
65～74歳	2,224人
15～64歳	12,263人
6～14歳	1,581人
0～5歳	847人
合計	19,465人

緑区	
75歳～	18,912人
65～74歳	21,804人
15～64歳	114,730人
6～14歳	15,464人
0～5歳	9,425人
合計	180,335人

横浜市	
75歳～	417,171人
65～74歳	463,289人
15～64歳	2,380,661人
6～14歳	289,593人
0～5歳	184,639人
合計	3,735,353人

注）上記の人口データには、新治町、十日市場町及び長津田みなみ台７丁目のデータを集計しています。

地区別計画推進委員会の開催状況

第１回
平成 28 年9月 12 日
13:30～15:15
十日市場自治会館
・第３期計画について
・今年度の取組について

通信No.11 発行

第２回
平成 29 年2月 14 日
13:30～15:00
十日市場自治会館
・今年度の振り返り
・検討課題について意見交換

通信No.12 発行

緑区地域福祉保健計画「みどりのわ・ささえ愛プラン」平成２８年度地区別計画推進状況

新治西部地区

地域での「つながり」を深め 顔の見える元気な街を目指して！

新治西部地区では、季節ごとの行事を大切にしています。様々な世代が集い、知り合うきっかけとなっています。

「農」の取組を通じて、地域でのつながりづくりや子どもから高齢者までの交流進めています！

（写真：「十日市場 マルシェ」の様子」

十日市場の『いちば』は、６月と１２月に開催し、毎回農産物が完売するなど、大変盛況でした。 また、小学校での「農業体験」や「後谷菜園」の取組など、農地や空き地を活用し、地域のつながりづくりに取り組んでいます。

21 世紀版中世の市「十日市場 マルシェ」

かつて毎月 10 日に中世の市が開催されていたと伝えられる十日市場。数百年の時を経てマルシェとして「市場」が復活。
マルシェには地元の新鮮な農産物や加工品が所狭しと並び、大勢の人が買い物を楽しんだり、地元の生産者との会話を楽しんだりして、活気にあふれていました。

今回も大盛況！「おたのしみ会」

（写真：「新治西部 おたのしみ会」の様子」

１２月に開催した『おたのしみ会』は、今回も大盛況!!
４００人近くの小学生が参加して、楽しいひとときを過ごしました。子どもたちが地域で楽しい経験をし、そこから「顔の見える関係」づくりにつなげていきたいと、子供会等が中心となり、連合自治会などと連携しながら、趣向を凝らして取り組んでいます。

これからも自治会エリアや年代を超えた交流を通じて、みんなの顔が見える、元気な街になるような取組を進めます！

新治西部地区別計画推進委員会

新治西部地区 地区別計画推進委員会
平成 28 年 11 月発行　第３期 No.1（通算 No.11）

新治西部地区 地区別計画推進委員会通信

第3期 新治西部地区 地区別計画が始動しました！

平成 28 年9月 12 日（月）十日市場町自治会館において「**平成 28 年度 第１回 みどりのわ・ささえ愛プラン　新治西部地区 地区別計画推進委員会**」を開催しました。

当日は、田中委員長のあいさつで始まり、平成 28 年度から始まった第３期みどりのわ・ささえ愛プランの概要について改めて確認しつつ、第３期の新治西部地区の地区別計画の推進に向けて『健康づくり』をテーマに話し合いを行いました。

「健康づくり」に関する取組報告

① 十日市場の「いちば（夏）」の開催について

田中委員長

「とおかいちば・まちづくりスクール」で「いちば」開催のご意見が多かったことから、まずは農家が中心となって６月から４回開催しました。毎回農産物が完売するなど、大変盛況でした。開催まで大変だったが、地域の仲間づくりにつながりました。「いちば（冬）」として１２月に２回開催予定です。

② 「元気づくりステーション」について

十日市場地域ケアプラザ

2025 年問題を踏まえて、高齢者が地域の中でつながって活動できる場所として「元気づくりステーション」ができました。新治里山交流センターで活動している「里山会」や十日市場町自治会館での「シラン」（緑区の花）の取組が紹介されました。

ご意見の一部をご紹介します

～『健康づくり』をテーマに、多くの意見が出されました～

○ 十日市場町自治会館を借りて行っている「**健康麻雀**」では、**脳トレ**を含め**健康体操**を取り入れて開催しており、男性女性含めて人気の講座である。

○ 「**敬老会**」では、これまで音楽演奏を聞くのみだったが、食事会のあとに**歌うのは健康**にいいということで参加者が一緒に歌うことを企画している。

○「あと 10 年たっても元気でいられるといいね」という趣旨で、保健活動推進員が中心になって**体操**を月２回開催している。

○ 「**防犯パトロール**」は、小学生の登校見守りと自身の健康づくりにもなっているが、人数が少ないため、もう少し人がでてくるといいなと思っている。

○ **朝ごはんを食べていない子どもがいる**とのことなので、まずは子どもたちのことを考えてあげたい。なにかいい支えあいができないかと思った。

★裏面では、新治西部地区の第３期地区別計画の概要についてご紹介いたします！★

第３期計画 新治西部地区 地区別計画

目標１　地域の中での孤立化をなくしみんなの顔が見える環境を目指します

目標とする姿　高齢者や子育て世代が孤立せず、地域で生活しています。また、幅広い世代がさまざまな形で地域活動に参加することで、地域で顔の見える関係が育まれ、地域のつながりが深まっています。

（具体的な取組例）
- 地域全体で一人暮らし高齢者や子どもたちの見守りを進めます。
- これまで地域との関わりが薄かった方にも地域活動に参加してもらえるよう地域活動の情報発信や声掛けなどに取り組みます。

目標２　自治会加入を促進し、地域情報をより多くの人に届けます

目標とする姿　自治会への加入率が上がり、より多くの皆さんに地域情報が伝わることで、地域の行事や地域活動に参加する人も増えています。また、それをきっかけにして若い担い手も徐々に育っています。

（具体的な取組例）
- 自治会の広報紙やホームページを活用し、地域活動の状況や行事の情報などを広くお知らせします。

▲ 第１回委員会の様子

【平成 28 年度　新治西部地区 地区別計画推進委員】

○ 推進委員会メンバーは、連合自治会、地区社会福祉協議会、民生委員児童委員協議会、地区保健活動推進員会、消防団、老人会、スポーツ推進員、青少年指導員、防犯部、十日市場中学校、十日市場小学校、新治小学校　などから構成されています。

★ 田中賢、和田哲男、山田賢治、加藤健二、林洋子、小林政義、三橋忠、松浦正義、石川眞由美、澁谷和子、加渡節子、荒井史子、小林恵、松浦由美子、田中貴子、鳥海文雄、荒井良一、和内武司、中島清治、真室哲也、奥津昴一、松尾恵理、戸川隆一、八木範夫、青木潤、大木巧、鈴木克青、中込広子、山内亜紀子　（敬称略、順不同、★：委員長）

＜連絡先＞
新治西部地区 地区別計画推進委員会事務局
緑区区政推進課 （ＴＥＬ）930-2218

新治西部地区 地区別計画推進委員会
平成 29 年　３月発行　第３期 No.2（通算 No.12）

新治西部地区 地区別計画推進委員会　通信

第2回 みどりのわ・ささえ愛プラン新治西部地区別計画推進委員会を開催しました！

平成 29 年2月 14 日（火）に、十日市場町自治会館において**「平成 28 年度 第２回 みどりのわ・ささえ愛プラン　新治西部地区 地区別計画推進委員会」**を開催しました。

当日は、和田連合副会長のあいさつで始まり、第１回 地区別計画推進委員会の振り返りを行うとともに、第３期の新治西部地区の地区別計画の推進に向けて、地域での諸課題について、話し合いを行いました。この通信では、その内容の一部をご紹介します！

▲　第２回委員会の様子

第１回委員会の振り返りとその後の取組報告

●十日市場の「いちば（冬）」の開催について…………………… 田中連合会長

６月に４回開催した「いちば」ですが、大変盛況だったため、「いちば（冬）」として 12 月に２回開催しました。好評で毎回１００人ぐらいのお客さんが来てくれました。

参加する農家さんが 10 軒に増えました。ご夫婦やご家族で売る姿も見られました。次は６月頃に開催したいと考えています。

●「後谷菜園」の取り組みについて ……………………………… 山田連合副会長

無農薬野菜を作って健康になろう、体を動かして健康になろう、という目標で取り組んでおり、出来たスイカを子ども会に差し入れています。農園が１か所増えるので、仲間を増やしていきたいと考えています。また、無農薬なので地域の方へも菜園による販売を考えていきたいです。

前回の話し合いで出された意見から、引き続き地区の課題について意見交換しました！

1 子どもの食事・生活について

ご意見の一部を紹介します。

○小学校では食育を行っている。**朝食抜きの子は、無気力やイライラでキレてしまうことなどがある**。**質的な面、量的な面でも食事が足りていないことがある**。**朝ご飯について課題があると考えている**。家庭の方と連携を取りながらと考えているが、なかなか難しい。

○ 中学校では、昼を食べない子どもはいないが、**中学３年生の生徒の朝ご飯を食べない率が一番高い**。

○ 単純にご飯を食べてこないというわけでなく、その中に潜んでいる問題があるのではないか。私たちに出来ることとして、**「おかしいな」と感じたら「どうしたの？」と声をかけることが重要**なのではないかと考える。

○ 子どもたちには、学校に行く時間帯に挨拶、声かけだけはするようにしている。その中で食事しているかどうかは正直わからない。**これからは軽く「食事してきた？」など声かけしてみても良いかも**と思う。

裏面へつづく

表面のつづき

❷ 高齢者の見守りについて

○ お互いに頼り頼られという関係であったが、近隣の方が孤独死となってしまった。**普段から注意していてもそのようなことが起こる**ということを経験した。

○ 高齢者の一人暮らしは、いつどうなるかわからないということがある。**気がついたらどこかにつなげるということができるのでは**ないか。全てを負うのは負担が大きいので大きく構えすぎないことが重要ではないか。

○ 地域の役員だけで地区全てを把握することは無理だと思う。近所ならわかるが離れたところまではなかなか見られない。そのため、「**何かあれば声をかけて下さい」と日頃から声をかけている。これが意外と有効と感じる**。地域の中にアンテナをたてることが重要なのではないか。

○ あまり言うとお節介といわれてもしまう。「元気でやっていますか。」という声かけだけだが、個別に訪問は難しいのではないか。勤めていると隣近所は知らないのが実際である。**関心は持たなくてはならないが、どこまでやれるかと考えてしまう**。

○ **色々な課題はあるが、ＳＯＳの受け皿を作ることは出来るのではないか**。何かあればちょっとだけできること、自分の負担にならない程度のものがあるといいのではないか。

●意見交換を振り返って　……………………和田連合副会長

「誰がどのように支えるのか」、より具体的に前進する話し合いになればと思い、意見交換を行った。結論は出なかったが、小さな異変をどのように気づけるか考える機会になった。

地域ケアプラザの広報誌にも「見守り」のポイントを掲載してもらう予定がある。今後は、「助けてほしい！」という SOS のサインを出せるような仕組みも考えていく必要があると感じた。

みどりのわ・ささえ愛プランとは・・

誰もが身近な地域で安心して暮らしていけるよう、福祉・保健に関する課題の解決に向け、区民や団体、事業所、地域ケアプラザ、緑区社会福祉協議会、区役所などが協働で取り組む、緑区の『地域福祉保健計画』です。

平成 28 年度からは第３期の計画がスタートし、新治西部地区でも、次の２つの目標の推進に取り組んでいます。

新治西部地区　地区別計画　２つの目標

☆地域の中での孤立化をなくし、みんなの顔の見える環境を目指します。

☆地域情報を多くの人に届けるため自治会加入を促進します。

【平成 28 年度　新治西部地区　地区別計画推進委員会】

○ 推進委員会メンバーは、連合自治会、地区社会福祉協議会、民生委員児童委員協議会、地区保健活動推進員会、消防団、老人会、スポーツ推進員、青少年指導員、防犯部、十日市場中学校、十日市場小学校、新治小学校　などから構成されています。

＜連絡先＞
新治西部地区　地区別計画推進委員会事務局
緑区区政推進課　（ＴＥＬ）930-2218